

デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン
【別紙2】SPF-XML仕様書第1版

No.	要素	子要素、属性	基底型	出現回数	SPF-XMLの定義	SPF-XMLの使い方	備考
1	EDXLDistribution				ルート要素の定義。		
2		distributionID	xs:string	1	情報の整理番号を表す文字列(ID)。	コンテンツを一意に表すIDを設定する。	Lアラート準拠
3		senderID	xs:string	1	情報の発信元を表す文字列(ID)。	コンテンツの発信元を設定する。	Lアラート準拠
4		dateTimeSent	xs:dateTime	1	システムがこの情報を送信した日時。	コンテンツを送信した日時を設定する。	Lアラート準拠
5		distributionStatus	edxIde:statusValues	1	情報の運用モードを表す文字列ベースの列挙値。	コンテンツの表示可否を決定するために使用する。 "Actual" のもののみ表示し、それ以外は表示しない。 表示しない場合、サイネージサーバでは登録すらしめないか、登録だけはしてプレーヤで表示しないかは任意とする。 "Actual" → 本番。実運用の業務内で作成・発表された情報であることを表す。 "Exercise" → 訓練。実運用中の訓練業務で作成・発表された情報であることを表す。 "System" → システム。情報発信者が送信することはない。実運用中またはテスト中に送信された情報であることを表す。 "Test" → テスト。運用開始前のシステム構築時のベンダ間接続テストで作成・発表された情報であることを表す。	Lアラート準拠
6		distributionType	edxIde:typeValues	1	情報の更新内容を表す文字列ベースの列挙値。	値によって以下のように動作する。 "Report" → 新規。コンテンツを新規作成し、指定の方法で表示する。 "Update" → 改版。既存のコンテンツを更新する。 "Cancel" → 取消。コンテンツの表示を停止し、コンテンツの実体を削除する。 "Error" → エラー。エラー発生についての情報であることを表す。	Lアラート準拠
7		combinedConfidentiality	xs:string	1	メッセージの機密性(confidentiality)を表す文字列。 デフォルト値で固定とする。	現バージョンでは"UNCLASSIFIED AND NOT SENSITIVE"で固定。	Lアラート準拠
8		targetArea	edxIde:targetAreaType	1..*	情報発信者が当該の情報を伝えたい住民が居住している地域(対象地域)を表す複合型。 地域の名称は、都道府県、市区町村、政令都市の区など、 全国地方公共団体コード(JISX0401/0402)を保有する団体等の 名称を設定する。	コンテンツの表示対象のプレーヤを決定するために使用する。	Lアラート準拠
9		contentObject	edxIde:contentObjectType	1	情報および付加情報を含む複合型。	コンテンツの情報を設定する。	Lアラート準拠
10	CommonsTargetAreaType				対象地域を表す複合型の拡張の定義。		Lアラート準拠
11		areaName	xs:string	1	地域の名称を表す文字列。	地域の名称を設定する。同じ親を持つjisX0402要素が存在する場合、コードに該当する名称を設定する。	Lアラート準拠
12		jisX0402	xs:string	1	都道府県コード及び市区町村コードを表す文字列。	この情報が対象とする地域の「市区町村及び一部事務組合等コード」を表す。値はチェックディジットつき6桁の値となる。	Lアラート準拠
13		ooAzaTyoutyokuMokuCode	xs:string	0..1	大字町丁目コードを表す文字列。	この情報が対象とする地域の「大字町丁目コード」を表す。このコードは国土交通省国土計画局が提供する、位置参照情報ダウンロードサービスにおいて使用されている値とする。	Lアラート準拠
14	edxIde:contentObjectType				情報および付加情報を含む複合型の定義。		Lアラート準拠
15		contentDescription	xs:string	1	この情報の概要を表す文字列。	コンテンツの内容を簡潔に表した文章を設定する。	Lアラート準拠
16		xmlContent	edxIde:xmlContentType	1	XML形式の情報を含む複合型。 EDXLスキーマ上はこの要素とnonXMLContentのどちらかが必須となるが、コモンズ標準形式XMLでは必ずxmlContentを使用しなければならない。	コンテンツの内容を設定する。	Lアラート準拠
17	CommonsContentObjectType				XML形式の情報を含む複合型の拡張の定義。		Lアラート準拠

No.	要素	子要素、属性	基底型	出現回数	SPF-XMLの定義	SPF-XMLの使い方	備考
18		publishingOfficeName	xs:string	1	本情報を業務的に発表した部署の名称を表す文字列。	コンテンツを発表した部署の名称を設定する。	Lアラート準拠
19		publishingOfficeID	xs:string	1	本情報を業務的に発表した部署のコードを表す文字列。	コンテンツを発表した部署のコードを設定する。 発表部署が自治体の場合、全国地方公共団体コード (JISX0401/0402) をチェックディジット付きの6桁で指定する。発表部署が自治体以外の場合には省略する。	Lアラート準拠
20		publishingOfficeDomainName	xs:string	1	本情報を業務的に発表した部署を一意に表す文字列。 publishingOfficeName に対応するドメイン名を記述する。	コンテンツを発表した部署を一意に表す文字列を設定する。	Lアラート準拠
21		documentRevision	xs:int	1	この情報により更新される元文書の版番号を表す数値。	コンテンツの版番号を表す。 この情報が新規(distributionType=Report)である場合には、documentRevisionの値は1となる。	Lアラート準拠
22		documentID	xs:string	1	独立した文書(情報)を識別するためのIDを表す文字列。	コンテンツを識別するためのIDを表す。コンテンツには共通のdocumentID と、documentRevision が符番されることで、改版を表現する。 例えば、「避難勧告発令 → 避難指示発令 → 避難指示解除」の順で発令・解除が発表されるとき、3件の情報の送信が行われる。ここで、distributionIDは3件の情報すべてに異なる値が符番されるのに対し、documentIDは3つの情報すべてに同じ値が符番される。これによって、3件の情報の元文書が同一であり、元文書が更新されていることを認識できるdocumentID は、システム内でユニークなIDとなる必要があるため、UUID(Universally Unique Identifier:RFC4122)の使用を推奨する。また、元文書が発信システム上一意となる ID を持っており、かつ上記改版の考え方に則している場合には、これが発信システムのFQDNを付けたものを用いてもよい。	Lアラート準拠
23		category	edxIde:categoryType	1	この情報の情報種別を表す文字列ベースの列挙値。	コンテンツの情報種別を設定する。 "AntidisasterHeadquarter"(災害対策本部設置状況) "EvacuationOrder"(避難勧告・指示情報) "Shelter"(避難所情報) "TemporaryStayFacilities"(一時滞在施設情報) "DamageInformation"(被害情報) "GeneralInformation"(お知らせ) "Event"(イベント情報) "CivilProtection"(国民保護情報) "WaterLevel"(河川水位情報) "WeatherEmergencyWarningsAndWarningsAndAdvisories"(気象特別警報・警報・注意報) "SeismicIntensityInformation"(震度速報) "EarthquakeAndSeismicIntensityInformation"(震源・震度に関する情報) "TsunamiInformation"(津波情報)	Lアラート準拠
24		urgency	xs:string	1	この情報の緊急度を表す文字列ベースの列挙値。	コンテンツの緊急度を設定する。 "Immediate"(直ちに) "Expected"(まもなく(1時間以内)) "Future"(近い将来) "Past"(過去) "Unknown"(不明)	Lアラート準拠
25		severity	xs:string	1	この情報の重大性を表す文字列ベースの列挙値。	コンテンツの重大性を設定する。 "Extreme"(著しく高い) "Severe"(高い) "Moderate"(中程度) "Minor"(低い) "None"(危険なし) "Unknown"(不明)	Lアラート準拠
26	edxIde:xmlContentType				XML形式の情報を含む複合型の定義。		Lアラート準拠
27		embeddedXMLContent	edxIde:anyXMLType	1	XML形式の情報そのものを表す複合型。	コンテンツの内容を設定する。	Lアラート準拠
28	edxIde:anyXMLType				XML形式の情報そのものを表す複合型の定義。		Lアラート準拠
29		Report	type.report	1	情報そのものを表す複合型。	コンテンツの内容を設定する。	Lアラート準拠

No.	要素	子要素、属性	基底型	出現回数	SPF-XMLの定義	SPF-XMLの使い方	備考
30	type.report				情報そのものを表す複合型の定義。		Lアラート準拠
31		Control	type.control	1	伝送情報を表す複合型。	コンテンツの付加情報を設定する。	Lアラート準拠
32		pcx_ib:Head	pcx_ib:type.head	1	ヘッダー部を表す複合型。	コンテンツのヘッダー情報を設定する。	Lアラート準拠
33		*	(namespace)	1	ボディ部を表す複合型。	データタイプ別本体部分。データタイプ毎に namespace は異なる。	Lアラート準拠
34	type.control				伝送情報を表す複合型の定義。		Lアラート準拠
35		Title	edxIde:categoryType	1	情報の情報種別を表す文字列ベースの列挙値。	EDXL内edxIde:categoryTypeと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
36		edxIde:distributionStatus	edxIde:statusValues	1	情報の運用モードを表す文字列ベースの列挙値。	EDXL内edxIde:distributionStatusと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
37		PublishingOffice	pcx_eb:type.OfficeInfos	1	発表部署名情報を表す複合型のコレクション。	コンテンツを発表した部署を設定する。	Lアラート準拠
38	type.OfficeInfos				組織(団体)・部署名情報を表す複合型のコレクションの定義。		Lアラート準拠
39		OfficeInfo	type.OfficeInfo	1	組織(団体)・部署情報を表す複合型。		Lアラート準拠
40	type.OfficeInfo				組織(団体)・部署情報を表す複合型の定義。		Lアラート準拠
41		OfficeName	xs:string	1	部署の名称を表す文字列。 情報の発信元や編集組織の名称を表す。	コンテンツを発信元や編集組織の部署名称を設定する。	Lアラート準拠
42		OrganizationName	xs:string	1	組織の名称を表す文字列。 団体・企業など、人格を持つ組織の名称を表す。	コンテンツを発信元や編集組織の組織名称を設定する。	Lアラート準拠
43	type.head				ヘッダー部を表す複合型の定義。		Lアラート準拠
44		Title	xs:string	1	標題 情報発信者名、および情報種別名を含んでいることを推奨する。	コンテンツのタイトルを設定する。	Lアラート準拠
45		CreateDateTime	xs:dateTime	1	情報の作成日時。	コンテンツの制作日時を設定する。	Lアラート準拠
46		FirstCreateDateTime	xs:dateTime	1	情報の初版作成日時。	コンテンツの初版の制作日時を設定する。	Lアラート準拠
47		ReportDateTime	xs:dateTime	1	情報の発表日時。	コンテンツの発表日時を設定する。	Lアラート準拠
48		TargetDateTime	xs:dateTime	1	情報の公開開始日時。	コンテンツの表示開始日時を設定する。	Lアラート準拠
49		ValidDateTime	xs:dateTime	0..1	情報の公開終了日時。	コンテンツの表示終了日時を設定する。 表示終了日時が未設定だった場合は表示開始日時からシステムで設定した時間が経過した日時を放映終了日時とする。	Lアラート準拠
50		edxl:distributionID	xs:string	1	情報の整理番号を表す文字列(ID)。	EDXL内edxIde:distributionIDと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
51		edxl:distributionType	edxIde:typeValues	1	情報の更新内容を表す文字列ベースの列挙値。	EDXL内edxIde:distributionTypeと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
52		commons:documentRevision	xs:int	1	この情報により更新される元文書の版番号を表す数値。	EDXL内edxIde:documentRevisionと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
53		commons:documentID	xs:string	1	独立した文書(情報)を識別するためのIDを表す文字列。	EDXL内edxIde:documentIDと同じ値を設定する。	Lアラート準拠
54		Headline	type.headline	1	見出し情報を表す複合型。	コンテンツをメディア化した内容を設定する。	Lアラート準拠
55	type.headline				見出し情報を表す複合型の定義。		Lアラート準拠
56		Text	xs:string	1	見出し文を表す文字列。	コンテンツのタイトルを設定する。	Lアラート準拠

No.	要素	子要素、属性	基底型	出現回数	SPF-XMLの定義	SPF-XMLの使い方	備考
57		MediaSources	type.mediasources	0..1	メディアソースを表す複合型のコレクション。	コンテンツをメディア化したメディアソースの一覧を表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
58		TickerTexts	type.tickertexts	0..1	テキスト情報を表す複合型のコレクション。	コンテンツをテキスト化したテキスト情報の一覧を表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
59		Advertisement	xs:int	0..1	情報の広告要素を表す数値。	コンテンツが広告情報を含むか否かを表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。 要素が未定義の場合はデフォルト値「0」が設定される。	
60	type.mediasources				メディアソースを表す複合型のコレクションの定義。		
61		MediaSource	type.mediasource	1..*	メディアソースを表す複合型。	コンテンツをメディア化したメディアソースを表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
62	type.mediasource				メディアソースを表す複合型の定義。		
63		lang	xs:string	0..1	メディアソースの言語情報を表す属性。	コンテンツの言語属性を表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。 属性が未定義の場合はデフォルト値「ja」が設定される。	
64		Title	xs:string	1	メディアソースのタイトルを表す文字列。	コンテンツのタイトルを表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
65		URI	xs:string	1	メディアソースのURIを表す文字列。	コンテンツの実態を指すURIを表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
66		MimeType	xs:string	1	メディアソースのMimeTypeを表す文字列。	コンテンツのMimeTypeを表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
67	type.tickertexts				テキスト情報を表す複合型のコレクションの定義。		
68		TickerText	xs:string	1..*	テキスト情報を表す文字列。	コンテンツをテキスト化したテキスト情報を表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	
69	TickerText	lang	xs:string	0..1	テキスト情報の言語情報を表す属性。	コンテンツをテキスト化したテキスト情報の言語属性を表す。 情報提供者は値を設定する。デジタルサイネージシステムは値を参照する。	